

【刊夕】日二十月一

常磐新報

定價 金部一 銀五 料告廣
 錢十五行一語字三十號五
 治文略川人刷印人輯編兼行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

次に來るべき戦争は

莊 一 路

戦争が如何に非人道極まる
 惨酷なものであるかと言ふ
 事は歐洲大戰に於て歐洲各
 國が三千數萬億の國富と數
 十萬人の貴重な人命を犠牲
 にして結局得た所のものは
 何であつたか。

國民の體力を害ね思想は
 悪化し財政經濟は滅茶苦茶
 に紊亂して今尙ほこの致命
 的打撃は恢復してゐないの
 を見ても痛切に感じる次第
 である。

若しも世界の人類がこの
 慘禍から開放されたならば
 どんなに幸福であらうか、
 そしてこの慘禍を未然に防
 ぐため國際聯盟が叫ばれ不
 戰條約軍縮會議が成立して
 る。

では今後これ等の條約に
 よつて戦争は絶体に起らな
 いか、私は直にノーと答へ
 たい、軍縮會議が成立して
 も世界の列強が軍備全廢を
 行はぬ限り、亦どんなに世
 界の文化が進歩しても人間
 に競走心があり神様になら
 ない限り戦争は絶体には避
 け

られないと信するのである
 然らば次に來るべき戦争
 はと言へば支那を中心とし
 た日米間の戦争であると思
 ふ。

支那に於ける日本と米國
 の資本主義の衝突、政治的
 の紛争は最近に露骨となり
 將來益々悪化するであらう
 としてこの紛争を解決す
 るためには最後の手段であ
 る戦争に訴へて解決しなけ
 ればならない。

以前の戦争の主なる原因
 と云へば民族の反感とか領
 土擴張問題であつたがこれ
 からの戦争の原因は資本主
 義の衝突と政治的紛争にあ
 ると思ふのである。

由來アメリカと言ふ國は
 天然資源に富み産業合理化
 による大量生産を真先に行
 ひ萬年繁榮の國であるとい
 他共に相ゆるしてゐた。

處が昨年の大恐慌によつ
 てこの幻影は木葉微塵に破
 れ中小資本家は大没落に達
 つて資本はモルガンとかロ
 ックフェラー等の大財閥に

集中してしまつた。

この大恐慌によつてさ
 が萬年繁榮のアメリカも世
 界的不況の波に捲込まれ五
 百萬人の失業者と大量生産
 による生産過剰に苦しんで
 結局行くべき處は何處であ
 るかと言へば支那である。

支那は四億五千萬の人々
 と歐洲全土に匹敵する面積
 を有し、しかも未開の世界
 の寶庫と言はれて居る程天
 然資源の豊富な國であるが
 殆ど無政府状態であり南京
 政府はあつてもその威力は

文藝募集

南京の七八省にしか及んで
 るが、滿洲には張學良一派
 が頑張つてゐる等日本の戰
 國時代の群雄割據その儘で
 年がら年中戦争ばかりして
 る、随つてこの世界の寶
 庫の開發も殆ど外國資本の
 投資によらなければならな
 い。

現在支那には英國四十億
 日本二十億米國十億内外の
 投資をしてゐるが米國は昨
 年の大恐慌によつて國內投
 資が殆ど行詰り海外投資の
 全力を支那に集中して加速
 的に殖え、日英の投資額を
 凌駕せんとしてゐる。

急告

大塚肉店獨特の

内地牛大廉賣

- 由理●
- 一、舊年末謝恩の意味
 - 一、舊年末に供ふ内地牛の下落
 - 一、食肉の日用品化

- 特●
- 一、内地牛である事
 - 一、美味(ヤハラカイ)
 - 一、價格の絶対安い事

▲特賣價格

牛並肉	百匁二付	金二十錢
牛上肉	全	金四十錢
牛ロース	全	金六十錢
牛ヒレ	全	金八十錢

◎牛切出し百匁金十錢
 配達は迅速確實に致します

大塚肉店
 電話六六七番

安全剃刀
モニング
 おひげそりの
 快味

平町五丁目
釜屋商店
 電話九番九九番

磐城共濟病院案内

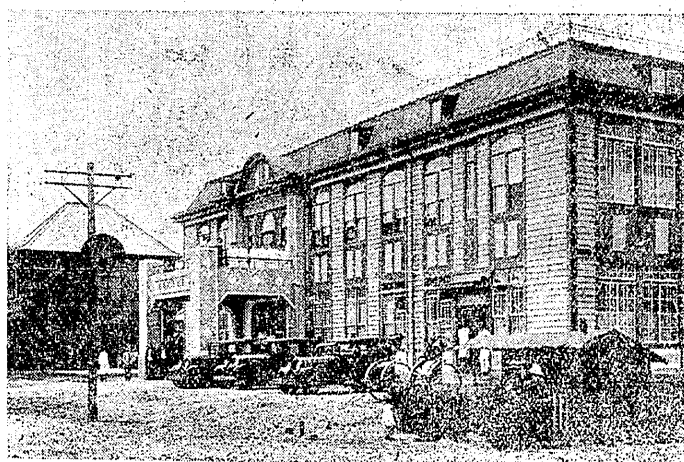
本病院は時局に鑑み八月一日より入院料並
 に往診料左の通低減致候御参考迄申上候

入院料 一日(本會員) 金貳圓也
 金壹圓五拾錢也

往診料 院長及其他の一員 金參圓也
 博士に限り 本會員 金貳圓也

(平町内)

尙地方往診も之に應じ低減致候間此段申添候



- (各科専門 醫擔當)
- 内科
 - 小兒科
 - 外科
 - 皮膚泌尿科
 - 整形外科
 - 内臓外科
 - 産婦人科
 - 女子泌尿科
 - 耳鼻咽喉科
 - X光線科
 - 物理學的診療科

院長 醫學博士 難波 睦
 本院主 管 賀澤 忠治

一、衛生試驗所
 一、救氣相談所
 一、治療所

共濟病院内

磐城共濟會

昭和五年九月

看護婦募集

平町 電話六四一番

色魔の師欺詐大

柳田を捕縛する迄

▼本名 青木由五郎(前科三犯)
▼原籍 神奈川縣浦賀町
▼平地方にての偽名 柳田辰五郎
▼房總地方にての偽名 森本友三

根 本 毅 一

僕では人相風格に於て不惑の今日迄婦じよ子から未だかつて好敵を受けた事のないと云ふ事程左様に不器用な造作の持主であると云ふ面も加ふるに微なりと云へども鼻下に貯へたるチヨビヒゲによつて益々面構へを凄然たらしめて居るを以て却つて初對面の者には警戒されてしまふ恐れがあるから不適任。幸ひ關内君は吾々の和服なるに引替へ洋服を着して居る。都會のものに信じて居るには最上好適此の上なしだ。然るべくやつて貰う。それには一つ彼奴等を信じさせるに充分な出鱈目な名稱を作らなければならぬ。やうやくにして出来も出来たり

京橋區築地南小田原町三丁目三番地船船用發動機製作販賣業細田合名會社支配人荒木平八郎電話東京橋二六一三番

姓は荒木又右工門から借り受け名は東郷大將閣下の一寸つと失敬した。ウハ……而して野郎がのこ……出て来たとか居ることをつきとめたら前の手管通り帽子を表へ投げ出す二人りが飛び込むこと。萬一來て居らなかつた際は根堀り葉堀り

「と小股に歩いてる中婆さんのやうになつちまふぞ友達甲斐に裏心より心配……」

「大きな御世話だ。蒲團も何も引んむいぢまふぞ……」

トウ、誰々起きる。朝風呂を浴びる飯を済ますサテ作戦會議。先づ僕から口を切つて今までの腹案を晒らけ出す關内君が

「異議あり。如何にとなれば成る程根本君の言はるゝ如く先方に對しての不安云々に於ては或は吾輩が適任であるかも知らん。然し其後に於て探るべき處の方策は根本君よりの口寫し即ち附双であつて。古來より附双はハゲやすいと言はれて居る通り萬一失策せんか取り返しがつかず茲に於てむしる發案者たる根本君が最適任者なりと固く信ずるのであるんである」

「同感々々至極同感」

サア事だ。斯うなると僕が衆望を荷つて出馬と云つて見た所が關内君吉田君の二人からオダテられて出るのが第一に行つて事つて見なければ分らない草だが。とに角東京に居て斯んな事でもして居やうと云ふ奴輩は悪がしこい事に於ては僕達より確かに役者が上に違ひない。して見ると此の場合この面けいがドウも當籤まつて居ない。今更に此れ迄にして貰つて苦情らしい事を云つては親に對して甚だ申譯げ無いんだが取り分け僕……から下の造作が自分の物で居氣に食は

ない。よくにがみ走つたと云ふが僕のは甘味走つて居るのだ。その缺點を補はんが爲め數年前から苦心慘憺鼻下に髭を貯へた。春風秋雨漸く今日平明一部人士から僕のヒゲの存在を認められて来たのだ。斯くの如く歴史と沿革を持つ偉いヒゲだ。僕の愛兒の娘二人から「父ウチヤンのヒゲには所々へ赤い毛があつて立竈になつて居て面白い……」

さすがは僕の娘なればこそ。中々に微妙な事を見出す鋭い監察眼を持つて居る「どうも此の鼻下のヒゲが氣がかりでこれあつて敵に……」

「ソナチヨビ聲落してしまへ」

「オイオイ他人のヒゲだと思つてさう粗末に取扱ふな」其處を一つ何卒頼む君の江戸ッ兒氣象。義侠心に訴へる。ヨウシ合点と胸を叩いて……

トウ、祭り上げられてヒゲに泣別れをせなければならぬ敵目になる。吉田君も人が悪いワザ、に携帶して来た安全かみそりの内から一番使ひ古るいの切れ味の悪るそうな奴を撰り出しハメ込んで寄越す僕は知らず知らずでゴリ、やるいや痛いの痛くないの……するのてなくつてムンリ取るのだ。

入 學 前 試 験

心身極度の疲労を慎め

醫師 市原卯太郎氏談

學途にある若き青年男によは此處二三ヶ月で試験地獄に突入せねばならず、今はその準備に没頭し惱まされつゝあるが、この二三ヶ月の期間即ち心身共に極度に疲勞せしめられる期間に最も注意すべきは心身の衛生である、先づ身体的衛生の方から述べれば朝は遅くとも七時には起床し夜は十一時には必ず就床したがよい普通夜は十二時一時間まで勉強しやうと思へば出来るものであり、又多くの人がするのであるが、然し夜は神経が非常に疲勞してゐる關係から長く續いても

誤りである、そして一日中の生活は何處々々までも冷靜を保ち、怒つたり不快を感じたりすると感情は前途の光明に照して打ち消してしきはねばならない、斯るに想到すべきである、

衛生的注意を怠つて心身を極度に疲勞せしめ神経系統に異狀でも来たせば何等得る處なくして試験地獄の敗慘者とならねばならぬこと

神戸そのこのけの 優秀清新の 牛肉大値下

ヒレ 百匁
ロース 同
上肉 同
並肉 同

九七〇〇
四七〇〇
二四〇〇
一五〇〇

お用次第いか程にでも早速お届け致します
電気すき焼器を取付けました
スキッチひとねじりで直ぐグツグツと煮上ります、正に超スピードです……

味は？これ自慢ながら百パーセントです
お家族様御同伴を歓迎いたします

平町 田町
牛豚鳥料理 石川亭
電 四三

學生外套特賣

生地 耐雨 強寒 型仕立 100パーセントの 黒ラッシュ外套 特價提供
中學用(極上)8,500錢
小學用(同)5,500錢
全部頭巾付

平二 電 203
なかや洋服店

健忘性の多いに驚く 列車内の遺失物

子供まで置忘れて

▽…平驛だけの調査

日本人に健忘性が多いことは列車中の遺失物の数字を見ればとすぐにわかる。年に百萬からの乗降客を吞吐して此點福島、若松、郡山の首位にある平驛について昨年中における遺失物の模様はと聞いて見ると、件数にして驚く勿れ二千六百三十三、どんな時でも一日約七件は欠かさない勘定になるから馬鹿にはならない、何といつても遺失物の横綱は帽子、手提、洋傘、風呂敷包みの類わけて夏のカン／＼朝の多いには驛員でさへあまされるといふ流石ごと

明のため同驛で本人に渡しただのが四百八十九件、他驛からの照會で戻したのが四百四十三件で、残りの千七百〇一件が五日の留置期間を過ぎても申出がなく平驛に引渡した分だが本年の数字はどうか

豫定通りに設立が 果して出来るか?

石城家畜保險組合
宣傳が徹底しない

石城方部における家畜保險組合はおそくも来月下旬までは設立の計劃で目下産馬組合の上川技師が郡下

各町村を行脚し設立同意書に調印をとりつゝあるが、未だ一回もこれに關して講演會を開いたこと

世智辛くなつては命について金が大事となつたものか現金のそれは案外少く合計二百三十圓七十八錢

風呂敷があつたり手提靴から毛生え髪が飛び出したり、振つたのは子供を汽車に置忘れて驛に泣つく飛んだ呑氣ものもあると

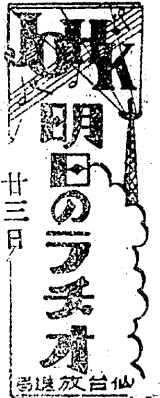
右のうち遺失主判

石城研 教授 石城郡第三方面教育會研究教授は明二十三日内郷村第二小学校で施行する

大寒入氣溫

今日からゆるむ

昨日の大寒入りにつき小名の濱測候所の觀測によれば同日最低溫度は氷點下三度五分で平年と大差なく唯空氣が乾燥してゐる結果身體に寒く感ずるが今日からは寒氣もゆるむだらうとの事である



明日の天気
今晩は北西の風
晴れ
明日は西よりの風
大休時れです
午後には曇る

- 前七、〇〇 ラジオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料望献立「蟹の白濱焼き」石龍たか發
- 表 日用品値段鮮魚のい
- 前一〇、三〇 家庭講座「フランクソングと流行歌」小林龍雄
- 前一、四〇 經濟市況
- 正午 時報
- 後〇、〇五

- 後〇、四〇 管絃樂チエロ
- 華想曲「アシダケ」シヤ
- 東京ラジオオケストラ
- チエロ獨奏沖不可止指揮藤原正雄
- 後〇、四〇 全國ニュース
- 後一、〇〇 氣象通報
- 後一、五〇 經濟市況

平町會召集

来る廿四日

平町町會は二十四日午後一時より平町役場會議室に於いて左の件に關し開會する

- 一、區長及區長代理者推選の件
- 一、水道擴張部職員月額旅費支給規程の件
- 一、字大工町踏切改修請願の件
- 一、特別稅戶數制隨時賦課額決定の件

蜂屋柿増植

農家の副業

石城地方名物の蜂屋柿は昨年初めて植田、大野から東京市場に進出非常な好評を納めた結果郡農會では増植を奨励し特産とすることに努めてゐる各町村農家でも副業として行ふこととなつた

鶏肉代横領

平署で取調中

平町三丁目鳥肉屋篠原留吉方雇人吉田義雄は主家の鶏肉賣上金卅圓を横領した事發覺平署で取調中

縊首体に驚き

眞ッ裸の儘で卒倒

驚いた貰ひ湯の隣人

石城郡好間村大字下好間喜代治妻鈴木ミツ(四)は廿一日夜風呂場にて縊首したが原因は病氣を苦しめた結果と傳へられて居る因に同夜隣人がブラ下つて居る事を知らず貰ひ湯に行き物凄いの有様に驚いて眞ッ裸の儘卒倒し大騒ぎを演じた

寒稽古納會

昨日平署で

平署寒稽古納會は昨日午後三時より演武場にて開催

開店御披露

謹啓今般時代の趨勢に鑑み當店に於ても貸切部を新設仕り三十一年新型セダン車入車仕候一般貸切の御用命賜り申度御願申上候

尼子自動車部

主 吉田彌之助

尼子タクシー部

主任 澤 正路

電話六四〇番

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院

入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

